

道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて (回答様式)

～ 今後検討すべき課題等 ～

地方公共団体名	北九州市
1 新たな組織と役割	
(1)機構と会社の設立	
意見： 民間の効率的、弾力的な経営・運営により、維持管理費をはじめとするコストを徹底的に削減することが可能な組織、仕組みとなるようにすべきである。	
(2)道路資産の帰属と債務返済の考え方	
支持する案がある (案-1-) <input type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-1-) <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input checked="" type="checkbox"/>	
上記の理由 民間経営という観点からはA案と思われるが、道路という公共財の私有を認めるのかという議論が必要。また、道路無料公開の原則からはB案が妥当と思われる。	
その他意見	
(3)地域分割	
支持する案がある (案-2- C) <input checked="" type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-2- A,B) <input checked="" type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由 新たな整備が可能となる適正な債務の分担と管理がなされ、分割により料金の地域間格差が生じないように仕組みとすべきである。	
その他意見	
2 新規建設	
(1)建設にあたっての評価	
意見： 適正な評価基準により優先順位をつけて整備を進めることは重要であるが、事業効果を発現させるための早期のネットワーク形成の視点 (細切れ区間の解消) も必要。	
(2)新会社による建設の範囲とその仕組み	
支持する案がある (案-3- B) <input checked="" type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-3- A) <input checked="" type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由 将来の債務返済が可能であれば、料金収入を活用して道路整備を推進する余地を残すべき。	
その他意見	

3 料金の性格と水準

(1)料金の性格と民間企業としての収益確保

支持する案がある(案-4- B) 支持できない案がある(案-4- A) どちらとも言えない
上記の理由

新たな整備を含めた債務返済の確実性が重要であり、利潤を含まない料金制度が適当であると
考えられる。一方、経営の効率化につながるなんらかの手だては必要である。

(2)料金の水準

意見：

利用者の視点からは、料金の値下げは歓迎すべきであるが、新たな整備を含めた債務返済の確
実性も重要である。したがって、管理コストの縮減による料金値下げを実現すべき。

4 承継する資産・債務の内容・評価

(1)承継資産・債務の考え方

意見

現在検討されている機構・会社・国への資産及び債務の継承内容でよいと思われる。

その他の意見 (道路関係四公団の民営化、基本的枠組み等について自由にご記入下さい)

高速道路は国土の骨格をなす社会資本であるとともに、地域にとっては発展の土台となるもので
ある。高速道路がいつ開通し、インターチェンジがどこにできるかによって、まちづくりの骨格が決ま
るといっても過言ではない。

今回の高速道路整備の制度改正にない視点は、地域から見た高速道路整備のあり方である。現
在の制度を、将来の償還を見据えた、効率的な経営形態に改めることは当然であるが、各地域の高
速道路のあり方についても、同時に真剣に議論がなされるべきである。現在の制度改正では、高速
道路を土台とした地域の将来像が見えず、地域が混乱する原因になるものと思う。こうした点にも配
慮して法改正を検討していただきたい。